

一枚指導案集 2年生国語 「アレクサンダとぜんまいねずみ」

①「たすけて！…」～おいかけてりする。

☆本時の目標

- ・ひとつふたつのパンくずをねらうだけで、人間に追いまわされるアレクサンダの様子を読み取らせる。

教師の働きかけ	児童の応答予想	教師の対応と組織
<p>みんなはねずみを見たことがありますか？</p> <p>このお話には2ひきのねずみが出てきます。どんなねずみか考えながら読んでいきましょう。</p> <p>今日勉強するところを読んで下さい。</p> <p>声が聞こえてきましたね。どんな声ですか？</p> <p>声の次には何が聞こえてきますか？</p>	<p>写真で見たことがある テレビで見たことがある 家に出たことがある かわいい</p> <p>チューチューとなく しっぽが長い きたない所に住んでいる</p> <p>音読（2～3名）</p> <p>①「たすけて！たすけて！ねずみよ！」 ②大きな声 ！がついているから大きな声 びっくりして大きな声が出た</p> <p>ガシャン、ガラガラという大きな音</p>	<p>☆自由にねずみに対するイメージを出させる ☆A可愛い動物型のイメージとBきたない動物型のイメージの両方を認めながら引き出していく ☆きたない動物型のイメージが出にくいときには、教師の方で補足していく ☆Aはアレクサンダによりそって見たイメージ、Bは人間によりそって見たイメージにつなげていけるだろう</p> <p>☆本読みの練習をがんばってきた子を授業前につかんでおいて指名していきたい。 （H O, I M, T A, M Yにねらいをつけて確認を） 【初めての時間なので本読みをきっかけにのってこれそうな子にも声をかけておく】 ☆悲鳴や音の読み方に焦点をあてて評価を入れる ☆本を持って聞いている子や班にも評価を入れる</p> <p>①から出てきた場合 ・声の調子や大きさについて聞き返していく T:どんな声で？ どこでわかる？ etc.</p> <p>②から出てきた場合 ・大きな声とわかる場所やその理由を聞き返していく</p> <p>☆音の中身についてツケ足しが出来たら評価をする</p>

発問・指示等	児童の応答予想	教師のタクト
<p>何が割れたのですか？</p> <p>何でそんなものがとんだりしてるの？</p> <p>この場面の場所はどこかわかりますか？</p> <p>台所に現れたねずみはなんという名前でしたか？</p> <p>人間に見つかってしまったアレクサンダはどうしましたか？</p> <p>どうしてアレクサンダは台所に出てきたの？</p> <p>アレクサンダが台所に出てきたのはこれが初めてなのかな？</p> <p>見つかるたびにアレクサンダはどんなことをされるんですか？</p>	<p>茶わんやお皿が割れた音 スプーンもとんでいる</p> <p>家に住んでいる人が投げた ねずみが出てきたからやっつけようと思って投げた ねずみからにげようとしてテーブルの上のものが落ちた</p> <p>家の中の台所 ごはんを用意しているところ そこへねずみが出てきたからびっくりしている</p> <p>アレクサンダ</p> <p>あなに向かって走った 精一杯のスピードで走った つかまらないようににげた 自分のすみかになにげこんだ</p> <p>食べ物がほしかった パンを取ろうとして出てきた ひとつふたつのパンを取ろうとしただけ</p> <p>いつも出てきている 見つけるたびにと書いてあるから初めてじゃない</p> <p>悲鳴をあげられる ほうきで追いかけられる</p>	<p>☆四方八方という言葉については説明を加える (あっちこっちという表現が一番わかりやすいだろう) (初めは子どもたちに説明をさせてみる)</p> <p>☆投げたか落ちたかについては限定せずに、ねずみが現れたためにてんやわんやになっている様子を確認しておく</p> <p>☆様々な言い方ができることに評価を入れる</p> <p>☆アレクサンダにとってはほんの少しの食べ物なのだという気持ちをおさえておく (パンくず、ひとつふたつなどの表現をきっかけに)</p> <p>☆見つけるたびにという表現に目をむけられる子がいたら評価する</p> <p>☆出てこない場合には証拠を見つめるように助言する</p>

発問・指示等	児童の応答予想	教師のタクト
<p>アレクサンダはいつもちゃんと食べられているのかな？</p>	<p>そのたびにあなににげこまないといけない</p> <p>見つからないときもあると思う</p> <p>食べられないときは残り物なんかを食べていると思う</p>	<p>☆</p>